

平成 25 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道府県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：津和地集落

交付金額：7, 8 8 8 千円

協定参加世帯数：5 8 人（うち漁業世帯 5 8 人）

2 協定締結の経緯

津和地集落は、豊富な魚介類が生息する貴重な漁場を有し、一本釣り漁業、刺し網漁業、吾智網漁業、たこつぼ漁業などの漁船漁業が盛んな一方、ヒラメ、アワビの養殖が行われており漁業は島の基幹産業となっている。しかし、近年は漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、離島漁業集落を取り巻く環境は、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・拡大、漁場環境の保全、ヒジキ養殖業などの取組みにより、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・アカウニを放流し、地域資源の増大を図った。（30,000 個）
- ・年間を通じて地先の水質検査を実施した。（年間 102 回）
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 3 回）
- ・海底のゴミを除去し、漁場環境の整備を行った。（年間 2 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視及び夜間監視を行った。（年間 18 回）
- ・食害の被害を防ぐためにエイの駆除を行った。（年間 8 回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・集落の所得向上と活性化を図るため、ロープへの挟み込みによるヒジキ養殖に取り組んだ。また、島の PR のため、一夜干しなどの加工品を農林水産まつり等のイベントで販売し、漁家所得の向上を図った。

4 取組の成果

- ・アカウニを継続的に放流することで資源の増大が図られ、集落内において資源管理の意識が高まった。
- ・水質検査を継続的に実施することで、アカウニの放流時期やヒジキの生長の目安にすることが可能となり、地先水域の環境保全に対する意識が高まった。

- ・海岸清掃及び海底清掃を実施することにより、自然環境の保護が図られ漁場の改善が図れた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。
- ・エイを駆除し、魚介類の食害を防ぐことで、漁場の生産力が維持された。
- ・水産物の簡易加工に共同で取り組み、イベントで加工品を販売することにより漁家所得の向上が図れた。

種苗放流	海岸清掃
	
漁場監視	ヒジキの養殖
	